

談話室 たんわ室

レセプトオンライン請求「義務化撤回」大阪訴訟も第二次提訴という段階に入った。

私はこの問題は、「効率化」「民営化」の名の下に進められる医療破壊の攻撃と同じだと思

う声は、世論そのものに直結することである。義務化撤回を求める私たちの運動は、今や患者さん

に、規制され目まぐるしく変化する保険診療の制度に嫌気がさして、3年ほど前に保険医を辞退し、実質廃院した。患者

情報漏えい事件は後を絶たず、オンライン化で膨大な患者データが流出するということは十分にありえる。しかも国

切り等、様々なところで「構造改革」のほころびが出てくる。「効率化」による犯罪的

な流れの中に、レセプトライン義務化もある。このようなものは、全面的に葬り去る必要がある。

「民営化」とレセプトオンライン

野瀬 博之(東住吉区)

小泉政権以降、医療分野にまで手が伸びてきた「効率化」「民営化」の動きは、約20年前の国鉄分割民営化以来、繰り返された様々な切り捨てと軌を一にする。いわば、あのJR西日本の尼崎脱線事故と、レセプトオンライン以降想像される情

公正さを著しく欠く報道をしている。論説記事には、「電子化を強いれば閉院を余儀なくされる」という声が…(これは)世論の共感を呼ぶようという感想も見え隠れ…と

という調査結果は無視できない。少なくとも私は、疾病治療や予防の主人公は医師ではなく、患者さん自身である事と同じように、医療を良くする運動も、本来、主体は国民であると思っている。

私の父は保険医だった。レセプトオンライン以前が、レセプトオンライン以前

重点化を断行することが課題」とし、06年1月に政府のIT戦略本部によって「医療事務経費の削減、医療費の適正化」がうたわれた。特に、小泉「構造改革」内閣の医療費抑制政策の中で固執された。

【中止】堺・高石・和泉地区「堺再発見ウォーク〜自然と歴史ロマンを求める〜」日時 5月31日(日)午後2時集合 JR阪和線「百舌鳥」駅前

【延期】(開催日未定)保団連近畿ブロック「持続可能な島国キユーバから知る本当の豊かさ」日時 5月30日(土)午後2時〜4時会場 M&Dホール

おどろかワオミチキング

207

大阪城は北を淀川(天満川)西を難波港、東を深田といった湿地帯に囲まれ、自然の堀で守られていた。城に迫るには南

方の天王寺方面に抜ける丘陵地帯が最適であった。真田幸村(信繁)は大阪冬の陣で、大阪城の南

方に弱点があることを指摘し、大阪城の南に真田丸と呼ばれる砦を築いた。真田幸村(信繁)が月夜城(えんげつじょう)と名付ける

真田丸は大阪城の外堀の南にあり、三方を空堀りで囲み、三重に柵をめぐらし、矢倉などを設けた堅固な砦であった。

大阪城から真田丸へ通じていたといわれている「真田の抜け穴」が真田山の三光神社に残されている。入り口は鍵のかかった「真田の六文銭」文

このほかにも、大阪城の謎の抜け穴は多くある。また、大阪をはじめ各地に「真田の抜け穴」が言い伝えられ残されている。慶長5年(1600年)、関ヶ原の戦いで西軍に属して敗れた真田昌幸・信繁父子は、女人禁制

善名称院の約200段の東に、昔から地元の人々に「真田の抜け穴」と言われている穴がある。また、その穴から善名称院までを真田氏の造った抜け穴と信じられてきた。しかし、1953年に行われた発掘調査によって、古墳時代後期(4世紀)に造られた横穴式石室を持つ円墳であることが判明した。

いつも見慣れている大阪城だが、少し視点を委ねると多くの歴史ロマンを築き上げてくれる。東京に比べると緑が少なく、大阪城、ふらっと散策すると、しばしの癒やしを与えてくれる。(新聞部・近藤正)

真田の抜け穴

なぞ多い大阪城の地下道

歴史ロマン感じる抜け穴伝説

大阪城から真田丸へ通じていたといわれている「真田の抜け穴」が真田山の三光神社に残されている。入り口は鍵のかかった「真田の六文銭」文

して真田幸村像が建てられている。三光神社の境内は、真田丸の中心から数百メートル離れた地点にあり、実際には真田丸の外側であったと考えられる。冬の陣で籠城を決め込んだ大坂

の高野山に配流の身となった。しかし、妻を連れていたために九度山に移され蟄居生活を送った。善名称院には、その屋敷があったと伝わるが、屋敷は遍照寺の近くにある。

このほかにも、大阪城の謎の抜け穴は多くある。また、大阪をはじめ各地に「真田の抜け穴」が言い伝えられ残されている。慶長5年(1600年)、関ヶ原の戦いで西軍に属して敗れた真田昌幸・信繁父子は、女人禁制

善名称院の約200段の東に、昔から地元の人々に「真田の抜け穴」と言われている穴がある。また、その穴から善名称院までを真田氏の造った抜け穴と信じられてきた。しかし、1953年に行われた発掘調査によって、古墳時代後期(4世紀)に造られた横穴式石室を持つ円墳であることが判明した。

いつも見慣れている大阪城だが、少し視点を委ねると多くの歴史ロマンを築き上げてくれる。東京に比べると緑が少なく、大阪城、ふらっと散策すると、しばしの癒やしを与えてくれる。(新聞部・近藤正)



真田幸村像の横に抜け穴への入り口がある

大阪城から真田丸へ通じていたといわれている「真田の抜け穴」が真田山の三光神社に残されている。入り口は鍵のかかった「真田の六文銭」文

して真田幸村像が建てられている。三光神社の境内は、真田丸の中心から数百メートル離れた地点にあり、実際には真田丸の外側であったと考えられる。冬の陣で籠城を決め込んだ大坂

このほかにも、大阪城の謎の抜け穴は多くある。また、大阪をはじめ各地に「真田の抜け穴」が言い伝えられ残されている。慶長5年(1600年)、関ヶ原の戦いで西軍に属して敗れた真田昌幸・信繁父子は、女人禁制

善名称院の約200段の東に、昔から地元の人々に「真田の抜け穴」と言われている穴がある。また、その穴から善名称院までを真田氏の造った抜け穴と信じられてきた。しかし、1953年に行われた発掘調査によって、古墳時代後期(4世紀)に造られた横穴式石室を持つ円墳であることが判明した。

いつも見慣れている大阪城だが、少し視点を委ねると多くの歴史ロマンを築き上げてくれる。東京に比べると緑が少なく、大阪城、ふらっと散策すると、しばしの癒やしを与えてくれる。(新聞部・近藤正)

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

Association activities schedule including: 北河内地区・大阪市東部地区合同「洗練された接遇・電話応対」, 個別指導(新規指導含む)対策講習会, 新規開業医講習会〜雇用編〜, アシスタントのためのパキウムテクニク, 第4回日常診療経験交流会, 真の医科歯科融合を目指して「糖尿病と歯周病の危険な関係」, 北大阪地区講習会「まさかの医療トラブル対策」.